審判についての注意事項

(1)団体戦

- ア. 審判は原則として相互審判とする。また、人数の少ないオープン参加の学校などは 相手校と協議の上、互いに出す審判の人数を決定する。
- イ. 審判はソロチェアアンパイア制とする。ソロチェアアンパイアの主審は、原則コ

ール(15-0 のカウントとゲームカウント)のみを行い、明らかな選手の誤審に関してのみ、オーバーコール(選手がセルフジャッジしますので、イン・アウト等の訂正)を行うことができる。

- ウ. 団体戦の挨拶は、ソーシャルディスタンスをとりながら行い、握手等は控えること。
- エ. ジャッジペーパーは通常通りつけること。審判は、ゲームカウントの確認と勝者サインを忘れずに。勝者サインが終わったジャッジペーパーは、勝者に渡すこと。
- オ.トラブルが発生した場合、そのまま試合を続行せず、速やかに手を挙げて近くにいるコートレフェリーの指示を仰ぐこと。
- (2) 個人戦シングルス・ダブルス すべてセルフジャッジとする。